第 91 号　　令和 4 年 4 月 15 日

世田谷たすけあいネット ニュース

発行責任者：世田谷たすけあいネット　代表　駒澤　重光

世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しい時、「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成１６年５月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みを解決すべく「無料で電話相談」にお答えし、情報の提供や出張サポートを行っています。

皆さん、おかわりありませんでしょうか？

代表　駒澤　重光

久しぶりのニュース発行となりました。
今回は梅丘あんしんすこやかセンター訪問記を掲載しましたのでご一読下さい。
コロナ禍の中、不本意ながら皆さまには活動を休止したり再開したり、また休止したりで何かとご不便、ご不自由をおかけしております。
コロナ禍は収まる兆しが見えない昨今ですが、たすけあいネット活動もままならない状態が長く続いています。早く再開したいという思いはあるものの、このコロナの状況で、「こういう依頼があるのだけど引き受けてもらえる？」とボランティアの方にお話しするのは、ためらわれるところがあります。その活動でコロナウィルスに感染してしまうことがあり得るからです。
かつてはある意味気軽にできていたたすけあいが、このコロナ禍では難しくなっています。
もしコロナ禍が続きウイズコロナが常態となれば、たすけあいネットはどのようにして活動を続け、利用者へのちょこっとサービスができるかを考えることが必要になってきた昨今です。

世田谷 あんすこ訪問記　第 14 回　梅丘あんしんすこやかセンター

駒澤 重光　　藤澤 恒生

桜も満開を過ぎ、路上には積もった雪のように桜の花びらが舞い落ちて路肩に積もっている 4 月上旬、梅丘あんしんすこやかセンターを訪問しました。
コロナ禍はピークを過ぎ感染者数は減少に転じるかと期待していたら、下げ止まりやや増加の兆しもみられ先行きが懸念されます。
このような中の訪問でしたが、管理者の稲垣清一さんは快く応じていただきいろいろと話をきくことができ交歓できました。
たすけあいネットは昨年梅丘に移転して、移転先が梅丘あんすこのすぐ隣、と何かと便利になりました。しかしながらコロナ禍が収まらず、近くに引っ越ししたがご挨拶もできず、今回やっとご挨拶方々の訪問となりました。
稲垣さんは、4 月初の異動で着任されたばかりで、梅丘のことは勉強中と言いながら、活動状況などを教えてくれました。当あんすこは、7 名の要員で、区域は梅丘・代田 1～3 丁目・豪徳寺を担当しており、高齢者の介護などの相談のほか子育て、病気、障害などについてもほかの機関と連携して問題解決に取り組んでおります。また、「いきいき講座」を開設して高齢者の生きがい支援を行っており、今年度は「ウォーキング活動、栄養バランス食事の摂り方、スマホ講座、消費者被害防止など」高齢者が弱点になりがちなテーマについて受講者を募り開講する予定とのことです。
稲垣さんから、幸いたすけあいネットは近くに来られたので今まで以上にお互いコミュニケーションを深めていきましょう、と温かいお言葉をいただきました。
たすけあいネットは、今コロナ禍が続いている中、コロナ禍前のようなお手伝い（ちょこっとサービス）が十分できず、利用者にご不自由をおかけしておりますが、徐々に活動を再開していく予定であることをお伝えし、今後ともご指導ご支援をお願いして訪問を終えました。

●電話相談日：毎週火曜日　（火曜以外は取り次ぎ）　Tel　6413－1506　Fax　6413－1556
●次回ボランティアミーティング 5 月 24 日　第 4 火 13：00～14：30